（単位：円）

① 資産種類		現金
② 資産名称		医療分野研究成果展開事業・研究成果最適展開支援プログラムにおける不要金銭
③ 帳簿価額	(1) 取得価額	4,188,000
	(2) 減価償却	—
	(3) 帳簿価額	4,188,000
④ 不要財産になった理由		本事業において、開発終了に伴い企業から回収した開発費について、将来にわたり業務を確実に実施するうえで必要がなくなったため
⑤ 国庫納付等の方法		不要財産の現物による納付
⑥ 譲渡収入の額		—
⑦ 控除費用		—
⑧ 国庫納付等の額 納付等の年月日	(1) 国庫納付額	4,188,000
	納付年月日	令和６年12月26日
	(2) 地方公共団体への払戻額	—
	納付年月日	—
	(3) その他民間等への払戻額	—
	納付年月日	—
⑨ 減資額		—
⑩ 備考		

（単位：円）

① 資産種類		現金
② 資産名称		固定資産の売却に係る収入金における不要金銭
③ 帳簿価額	(1) 取得価額	42,774,419
	(2) 減価償却	—
	(3) 帳簿価額	42,774,419
④ 不要財産になった理由		補助金事業の委託研究契約で取得した固定資産において、研究終了後に委託研究先の企業に売却した固定資産売却収入について、将来にわたり業務を確実に実施するうえで必要がなくなったため
⑤ 国庫納付等の方法		不要財産の現物による納付
⑥ 譲渡収入の額		—
⑦ 控除費用		—
⑧ 国庫納付等の額 納付等の年月日	(1) 国庫納付額	① 42,774,419
	納付年月日	① 令和６年８月22日
	(2) 地方公共団体への払戻額	—
	納付年月日	—
	(3) その他民間等への払戻額	—
	納付年月日	—
⑨ 減資額		—
⑩ 備考		

５．金融商品の時価等について

(1) 金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については短期的な預金及び譲渡性預金、公社債等に限定しております。開発委託金回収債権等に係る信用リスクは、債権管理規程等に沿ってリスク低減を図っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。預金、未収金、未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：円）

	貸借対照表計上額	時　価	差　額
① 開発委託金回収債権	11,986,251,906		
貸倒引当金	△ 676,052,445		
	11,310,199,461	10,141,961,614	△ 1,168,237,847
② 長期性預金	44,000,000,000	43,144,416,597	△ 855,583,403